

総務委員会行政視察報告書（令和6年1月29日～30日）

日 時：令和6年1月29日(月) 13時から
視 察 先：愛知県江南市
視察事項：トコトコラボ（江南市布袋駅東複合施設）に関する公共施設整備事業について
内 容 質問事項 1. 施設を開設するに当たり、市民の意見聴取はどの程度行われたのか伺う。行われたのであれば、市民の意見の何を重視したのか。またその半面、重視しなかったことは何かもあわせて伺う。 2. 施設の開設によって、成功したことについて伺う。またその半面、課題としていることは何かもあわせて伺う。 3. 施設の建設費用は、どのように調達したのか伺う。 4. 公共施設総合管理計画の掲げる方向性や目標に対して、この施設はどのような効果をもたらしたのか伺う。 5. 公共施設と民間施設を一体化することで得られた効果、また、期待される効果はどのようなことか伺う。 6. この施設により、公共施設総量の縮減効果について詳細を伺う。また、複合施設を建設したことにより、機能の移転などで課題となった事例があればあわせて伺う。
視察を終えて toko+toko=labo（江南市布袋駅東複合施設）は、布袋駅周辺・布袋地区の賑わいと交流を創出するため、民間施設を導入するための事業スキームなどを検討。また、「子育て機能のワンストップ化」を計画され、令和5年4月1日に基本コンセプト『江南市の南玄関口にふさわしい賑わいと、安心して住み続けられるまちの交流施設』としてオープンされた。機能として公共施設棟では、地域交流センター、図書館、保健センター、子育て支援センターなど、子育て機能のワンストップ化を図り、民間施設等では、食品スーパー、生活雑貨販売、民間保育所などが備えられている。 施設の開館に当たっては、公募により選出された市民や、市民協働、市民活動団体などの意見を伺い、情報の収集や発信、団体間のマッチングなどの機能を充実、気軽に利用できるように配慮された。また、保健センター、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターが同施設に設置されたことにより、妊娠準備期から子育てに関する相談をワンストップで行えるようになり、施設の利用者数も増え、市民にとっての居場所の形成がなされている。 課題としては、本館を開設したことで公共施設の延べ床面積は増えており、今後の維持運営費、建物の改修費用も必要になってくることから、施設総量として、15%相当の床面積を減らしていかなくてならないと考えているとのことであった。

※視察の資料等については、議会事務局に保管してあります。

総務委員会行政視察報告書（令和6年1月29日～30日）

日 時：令和6年1月30日(火) 午前9時30分から
視 察 先：大阪府岸和田市
視察事項：岸和田市における人材育成型の人事考課制度について
内 容 質問事項 1. 現在どういった人材を必要としているのか。また、その理由は何か伺う。 2. 人事評価では、どのような点を高く評価しているのか。またその半面、どのような点が低評価となるのか伺う。 3. 人材育成基本方針を策定した平成14年以降、必要とする人材の変遷について伺う。 4. 大阪府と市の間で、どのような人事交流があるか。その際、人材育成については、府と市でどのような関 連があるか伺う。 5. 2002年に示された人材育成基本方針に基づく、行政課題実践研修はどのような成果があったのか伺う。 6. 2023年において新たに示された職員研修計画のねらい及び特色について伺う。 7. 個性ある人材の育成を目指していることについて、どのようにして「個性ある人材」をつくるのか伺う。また、カフェテリア研修や研修エントリー制度の実施によるその効果についてもあわせて伺う。 8. 職員提案制度について、年間どれくらいの提案が上がっているか伺う。また、この制度は市政にどの程度生かされているかについてもあわせて伺う。 9. 職員の人材育成に当たり、外部のアドバイスなどは取り入れているのか。また、職員の声は、どの程度取り入れているのか伺う。 視察を終えて 岸和田市において、人材育成型人事考課制度は平成18年4月から本格実施されている。人事育成型の制度として古くから取り組まれ、平成23年6月には独自の人事評価システムを民間事業者と共同開発されている。 出発点は、行政を変革し、市民と協働できる人材が育っていないという危機感、今までの人事管理論からの脱却を図るため、人材育成型の人事考課制度に移行した。キーワードは「モチベーション」と「自学」、『目標管理』と『コンピテンシー考課』の2つの制度を導入し、『目標管理』は、職員に仕事の意味・やりがいを提供、『コンピテンシー考課』は、「気付き」を与え、「自学」（自発的な学習）を促す。いずれもコミュニケーション（評価）報酬を生み出す仕組みとなっている。 また、「好きこそ物の上手なれ」と研修エントリー制度を導入し、それぞれの目的や興味のある研修を受講できるメニューを職員に提供、能力向上を図っている。 課題としては、独自で行ってきた研修制度だが、総務省が令和5年12月に出された人材育成・確保基本方針策定指針とどのように整合性を取っていくかが課題となっている。

※視察の資料等については、議会事務局に保管してあります。